

阿寒摩周国立公園の公園計画の変更(一部変更)について

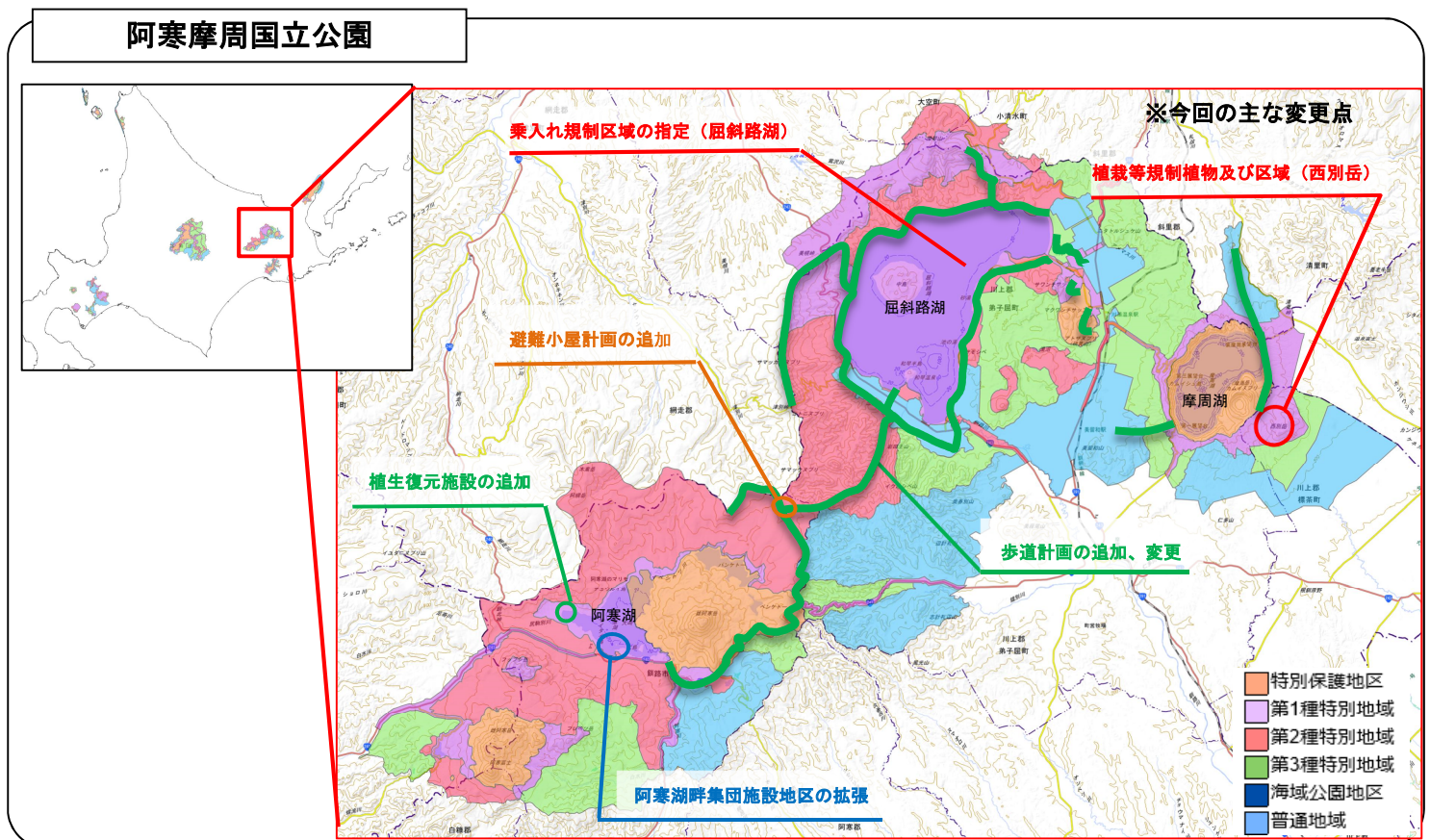
1. 背景

阿寒摩周国立公園は、北海道東部、千島火山帯の西南端に位置する阿寒・摩周・屈斜路の3つのカルデラを主体とした、火山と森と湖が織りなす原生的景観を有する地域です。昭和9年12月4日に「阿寒国立公園」として指定され、その後5度の点検が行われています。平成29年8月8日の第5次点検では、摩周湖周辺及び神の子池周辺の公園区域の拡張等を行うとともに「阿寒摩周国立公園」への名称変更を行いました。

本公園は、平成28年度より開始された国立公園満喫プロジェクトにおいて、先行的・集中的に取り組みを進める公園として選定されており、平成28年8月に阿寒摩周国立公園満喫プロジェクト地域協議会を立ち上げ、訪日外国人客を増加させるための取り組みを「阿寒摩周国立公園満喫プロジェクトステップアッププログラム2020(以下、ステップアッププログラム)」として同年12月にとりまとめ、同プログラムに基づく取り組みを進めています。

ステップアッププログラムについては、中間評価を踏まえて平成31年1月に改定し、2020年までに向けて今後加速化していく主な取り組みを追加したほか、令和2年2月に開催した地域協議会においては、2021年以降の取り組み方針について合意したところです。

今回は、これらに基づく取り組みを推進していくため、公園計画において保護規制計画及び関連事項並びに事業計画を変更するための一部変更を行うものです。



2. 変更案のポイント

屈斜路湖の風致を維持するための乗入れ規制区域を指定するほか、西別岳の植生を保護するために植栽等規制植物及び区域を指定します。また、満喫プロジェクトに基づく取り組みを推進するための利用施設計画を追加します。

3. 公園計画の変更案の詳細

○保護規制計画及び関連事項

- ・ 植栽等規制植物及び区域（西別岳 コマクサの指定）
- ・ 乗入れ規制区域（屈斜路湖の拡張）

○事業計画

・ 保護施設計画

追加：シュリコマベツ湾植生復元施設

・ 集団施設地区

変更：阿寒湖畔集団施設地区の拡張

・ 単独施設

追加：阿寒町舌辛避難小屋（北海道釧路市）

・ 道路

追加：神の子池摩周湖探勝線、屈斜路湖藻琴山接続登山線、屈斜路湖美幌峠接続登山線、屈斜路・阿寒カルデラ縦走線、川湯温泉川線、アカエゾマツの森探勝路、硫黄山登山線、美留和摩周湖線

変更： 屈斜路湖北西外輪山線、屈斜路湖畔線、摩周湖西別岳探勝線